

## 宝塚市「アピア」破産問題

# 三セク所有床売却

施設再建へ

宝塚市の阪急逆瀬川駅前にある商業施設「アピア1」を運営する第三セクター「宝塚まちづくり会社」が破産した問題で、破産管財人の藤井伊久雄弁護士は30日、同社が所有する約1万2千平方メートルの床を、現在のテナントの有志でつくる株式会社「アピア土地会社」に100万円で売却した、と発表した。

アピア土地会社は、三セクが滞納していた固定資産税や管理費など約4億数千円内の

債務を引き継ぐが、今後は新テナントを募集することで施設の再建を目指す。

藤井管財人は「施設自体の運営を維持するにはほかに選択肢はなかったのではないかと。厳しいなかで努力をすることになるアピア土地会社へ

の理解と支援をお願いしたい」と述べた。破産手続きは、次回の債権者集会がある来年2月をめどに終結する見込み。